

同志社国文学

第 63 号

- 古代歌謡における連対の用法……………山 本 直 子 (1)
- 源氏絵の型について……………岩 坪 健 (11)
——絵入り版本『源氏物語』(山本春正画)を中心に——
- 提婆達多の今様……………植 木 朝 子 (37)
——『梁塵秘抄』法文歌の一性格——
- 『平家物語』における建春門院崩御記事……………田 中 裕 紀 (50)
- 多田南嶺の生年……………神 谷 勝 広 (63)
- 森鷗外「舞姫」試論……………濱 田 真由美 (70)
——初期翻訳とのつながり(明治二〇年代を中心に)——
- 「事実」としての「奇」と「危」……………熊 谷 昭 宏 (84)
——江見水蔭の「実地探検」群を手がかりに——
- 芥川龍之介「葱」論……………齋 藤 香 (97)
——龍之介と「ルスティッヒェヒストリエン」——

2005・12

同志社大学国文学会